

平成  
20年度  
予算公表

# 町民一人ひとりが誇りと愛着を持ち 活力あるまちづくりを目指して

## 一般会計22億6,500万円の予算を編成

**歳入**

歳入の主なものとしては、町税が7億6,643万6千円で概ね前年度と同額となりました。地方交付税は地方再生対策費等の増により4,500万円増の7億1,000万円を見込みました。この二つで全体の65・2%を占めています。

地方譲与税は国の収入見込みを基に算出し前年度とほぼ

**歳入**

平成20年度当初予算が3月定例議会で可決されました。一般会計の予算総額は、22億6,500万円の前年度に対し1億3,500万円、6・3%の増額となりました。「集中改革プラン」による歳出の削減及び歳入の確保を図っていますが、新たな財源需要にも対応するため、財源不足となる1億2,374万4千円を町の貯金である財政調整基金から繰り入れていきます。

特別会計の予算総額は、5会計合わせて12億8,270万円の前年度に対して2億9,184万円、18・5%の減となりました。これは今までの老人保健制度に代わり、原則75歳以上の方を対象にした後期高齢者医療制度が始まるため、後期高齢者医療特別会計を設置しますが、それに伴い老人保健特別会計が大幅な減となるものです。公営企業会計である水道事業会計につきましては、下記のとおりです。

町の財政状況は、人件費等の削減を実施しているところですが、公債費は依然として高水準であり、社会保障関係経費の自然増等により構造的に厳しい状況にあります。そのため、「こうざき新世紀プラン」の着実な実施に向けて、予算執行の段階においても歳出の削減と歳入の確保を図ってまいります。

新年度予算と主要な事業についてお知らせします。

**歳出**

本年度の主要事業は、武田

同額の3,370万円、国県支出金は並木郡根岸線道路改良事業費の増等により40・3%増の1億9,726万3千円となりました。繰入金は、財政調整基金からの繰入の増により、41・9%増の1億3,100万円、町債は臨時財政対策債のみで1億1,400万円です。

( )内は前年度比

特別会計		
国民健康保険	7億1,400万円	(3.5%)
後期高齢者医療	6,030万円	(皆増)
介護保険	3億7,320万円	(19.9%)
老人保健	6,120万円	(△87.7%)
給食センター	7,400万円	(0.3%)
合計	12億8,270万円	(△18.5%)



田中踏切付近の道路改良が行われる町道並木郡根岸線

古原線 期道路改良事業及び並木郡根岸線道路改良事業が1億3,000万円、庁舎外壁等改修事業で3,029万4千円を計上しました。

その他の重点事業については、次ページの主な事業一覧のとおりです。なお、地方債の返済経費である公債費は、昨

水道事業会計		
収益的	収入	1億5,934万3千円 (△2.7%)
	支出	1億4,961万2千円 (△6.1%)
資本的	収入	1万1千円 (0.0%)
	支出	8,244万3千円 (△1.0%)

**財政用語解説**

① 地方交付税 標準的な行政の実施に必要な経費を賄うための収入が不足する団体に対して、一定の方法によって国から交付されるお金。

② 地方債 公共施設の建設等に必要なたる源を調達するための借入金。

③ 公債費 学校や道路などの建設のために借り入れたお金を返済するための経費。

年比1・3%減の4億1,039万3千円を計上しました。地方債の借入残高は平成20年度末で約29億600万円、7・6%減となり、町民一人当たりになると約44万円の前年度より約3万円の減となります。